

## 自転車用ヘルメット購入費用補助 全年齢に拡大！

自転車用ヘルメットの着用促進と交通事故による被害の軽減を図るため、購入費用の一部を補助するもの。(広報一宮 4月号 P6 に掲載)



**\*申請受付期間** 2022年4月1日(金)～2023年2月28日(火)  
(先着順 予算の範囲内で実施)

**\*対象** ・市内在住の方(ヘルメットの使用者が18歳以下の児童・生徒などの場合、その保護者が申請) ・2021年度に補助金の交付を受けていない方

**\*対象のヘルメット** 「SGマーク」「JCFマーク」「CEマーク」「GSマーク」「CPSCマーク」など安全性の認証を受けた自転車用ヘルメットで、4/1以降に市内の店舗で購入した新品のもの(学校指定の通学用ヘルメットは除く)

**\*補助金額** ヘルメット購入金額の2分の1(100円未満切り捨て) 上限2,000円

**\*申請方法** ・店舗の販売証明を受けた申請書と領収書の写しなどを市民協働課(本庁舎6階)に持参又は郵送

**\*問い合わせ先** 市民協働課 ☎28-8671

## 2022年度 市の組織の見直し 議員へのお知らせより

**\*副市長を2人に増員します。**

名岐道路や新濃尾大橋などのビッグ・プロジェクトが進行中、創意工夫を凝らした未来志向のまちづくりを指揮監督するため、副市長を1人から2人に増員します。

**\*各部の主な変更点**

・子ども家庭部 「保育施設監査室」を子育て支援課内(4階)に新設  
保育所や認定こども園などの指導監査を行うため。

・活力創造部(課の改変) 商工観光課と企業立地推進課を改編  
「産業振興課」 = 企業支援に特化  
「観光交流課」 = 交流人口の増加を推進

・まちづくり部

「まちづくり部」 = 都市計画課、地域交通課、区画整理課、公園緑地課  
「建築部」 ⇒ 建築指導課、公共建築課、住宅政策課



## ・消防本部

「消防救急隊」を消防本部に新設 外部との調整窓口を一本化し救急対応を効率化するため

## 一宮地域文化広場に行ってきました。

市内にはいくつかの文化施設があります。その中でも子どもから高齢者まで多くの市民に親しまれているのが地域文化広場です。設置目的は、地域住民の文化・体育の振興に寄与するため。広場内には多くの施設があります。少し紹介します。



### \*プラネタリウム館

特に人気があるのがプラネタリウム館、季節に合った番組プログラムで、リーズナブルに星空の世界を楽しむことができます。観客席は275席、ドームは直径18m、

観覧料 個人の場合⇒ 大人60円、小人(中学生以下)30円  
団体(30名以上)の場合⇒ 大人40円、小人20円

### \*有隣会館

1階 美術室、工作室(七宝窯あり)、音楽室(防音設備)、図書室(図書18,000冊)、作法室(茶・華道可、水屋あり)、第1研修室

2階 第1・2研修室、大研修室、教育研修室など

**\*その他** フィールドアスレチック、おやこプール  
はなのき広場、緑の散歩道

一宮市時之島字玉振1番地1 0586-51-2180



## 地域文化広場の今後はどうなるの？

★一宮地域文化広場について 一部紹介します

一宮地域文化広場内のプラネタリウム館に設置している投影装置は、開場以来の機器であり、著しく老朽化が進んでいる。既に交換部品の製造が中止している中で、代替の交換部品を利用して維持している。今後も施設の継続を前提としており、現在、投影機器の更新を検討している。きめ細かな修繕等プラネタリウム館及び周辺施設を維持しているが、今後は投影機器の単純な更新のみならず、一宮地域文化広場の全体的な運営も前提として、資金調達から運営までにおいてより

広い観点で民間ノウハウの導入を検討することが望まれる。

(令和3年度包括外部監査の結果報告書  
公有財産の管理に関する事務の執行について より)



## つどいが各地で行われています

名古屋屋業の街頭宣伝(左から)武田良比例予定候補、市田党副委員長、すやま初美予定候補



4月9日、大和地域でつどいが行われ、ひこさか和子市議が市政報告、3月19日に行われた栄オアシス21での街頭演説会のすやま初美予定候補、たけだ良介予定候補の演説を視聴しました。その後、わたなべさとし、党市民運動部長が、日本共産党への要望や質問に答えました。

4月9日、萩原では、しゃべり場“はぎ”が行われました。萬葉公園に10名余が集まり、日本共産党一宮尾北地区委員長 板倉正文と、わたなべさとし党市民運動部長が挨拶を行いました。参加者からは、共産党への要望として、政党名や政党助成金への意見が寄せられました。



4月10日には、千秋地域中心につどいが行われ、千秋町での大型物流倉庫建設に伴う運動の取り組みや、地域の現状などへの意見が寄せられました。

わたなべさとし党市民運動部長が参加し、取り組みの成果

を生かし、市民の暮らし・いのちが最優先される政治の実現に向けて、力を寄せてほしいとの訴えが行われました。

## わたなべさとしのアピール

## つどいで出された意見から

今回のつどいでは、日本共産党への意見や、日本共産党としての方針などの質問がだされました。みなさんに改めて知っていただくためにも、この場をお借りして何点かご紹介させていただきます。

## ロシアは資本主義国で、旧ソ連は共産主義国家と呼べない

参加者の方から、ロシアも中国も共産主義国家ではないか、共産党を支持するのに抵抗があると言われるとの意見がありました。まれにそういった勘違いをされている方がいらっしゃるようです。崩壊前のソ連も以後のロシアも、共産主義国家とは呼べません。

人権侵害を行い、覇権主義を行う中国共産党も旧ソ連の共産党も共産党の名に値しないというのが日本共産党の立場です。中国の誤りの根本には、自由と民主主義を体験することなく社会変革に踏み出したことがあります。発達した資本主義者国からの社会変革を目指す日本ではこのようなことは起こりません。

## 北朝鮮のミサイルに備えるには軍備が必要？

日本のテレビでは北朝鮮のミサイル発射のニュースがよく取り上げられます。北朝鮮はいまだアメリカとは戦争中(休戦状態)にあるため、経済制裁を課されており、終戦に積極的でないアメリカに対し武力誇示を続けています。その目標は、ハワイやグアムであり、その間にある日本の山口や秋田へミサイル迎撃設備としてイージスアショアの導入をアメリカが推進していました。

北朝鮮には日本を攻撃する直接的な理由はありません。アメリカの同盟国として軍事演習を共同で行ったり、日本の防衛を任務としていないアメリカ軍が日本に駐留することで危険が増しているのが今の日本の現状なのです。

## 軍事対軍事では、攻撃されない状況は作れません

ロシアが核兵器の先制使用を宣言して、核保有国の論理である、核兵器による安全保障論は成り立たなくなっています。また、ウクライナ侵略の状況を見ても、戦争になると傷つくのは、無辜の市民です。

いのちを最優先に考えるなら、戦争になった時点で失敗しているのです。戦争に備えるのではなく、攻撃されないようにどうするか。そのための憲法9条ではないでしょうか。

今年の夏の参議院選挙、すやま初美さんを国会に送り、参議院比例5議席を確保して、改憲勢力を3分の2以下にすることが必要です。みんなで力を合わせ平和な日本を未来につないでいきましょう。



(わたなべさとし)